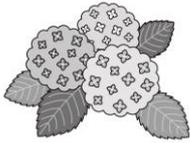


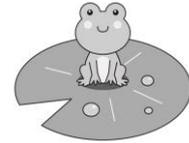
6月のほけんだより

令和5年6月23日 川口市立幸並中学校 保健室



6月の保健目標

梅雨時の健康
むし歯の予防と治療



3年生の修学旅行に始まり、1年生の校外学習、学校総合体育大会、そして期末テスト・・・今月は様々な行事があり、盛りだくさんですね。

季節は梅雨に入り、雨が続いたかと思ったら、晴れ間には気温が急上昇と天候も様々です。季節の変わり目は体調を崩しやすいものです。そんな時こそ規則正しい生活を心がけ、体調の管理をしていきましょう。



《 歯科健診が終わりました 》

6月12日(月)、14日(水)に 学校歯科医 高地豊文先生、吉井正俊先生による歯科健診が行われました。幸並中学校の皆さんは、たいへんきれいな歯をしていて、毎年歯科校医の先生方からお褒めの言葉をいただきます。今年度も多くの方がきれいな状態を維持していました。歯科健診の結果をお知らせします。

令和5年度 歯科健診結果

～ 受診のお勧め (人) ～

	C	CO	G	GO	歯垢	歯石	X	△
1年	5	10	1	2	12	11	11	
2年	1	6		5	4	5	2	
3年	3	12	1	4	4	5	1	1

C：むし歯 G：歯肉炎 X：要注意乳歯 △：喪失歯

CO、GOはそれぞれ「むし歯になりそうな歯」「歯肉炎になりそうな状態」のことです。改善できる状態のため、歯科医院でアドバイスをもらい、実践してみましょう。

《 歯みがきで歯周病を予防しよう 》

～ 歯肉炎と歯周病の違いって？ ～

“日本人が歯をなくす原因”

第1位



歯肉炎

炎症が歯肉（歯ぐき）に限定されているものです。歯肉が赤くはれたり、歯をみがくと出血することがあります。歯肉炎は歯周病の初期にあたります。

歯周病

歯肉炎がさらに進んだ状態で、歯肉だけでなく、歯の周り全体の組織（歯根膜や歯槽骨）まで炎症が広がった状態をいいます。

日本人の約8割が歯周病にかかっているといわれ、年齢に関係なくかかってしまいます。歯周病は初期症状がほとんどなく、気づいた時にはだいぶ進行していることも多くあります。

歯周病はこのように進行します

健康な歯と歯ぐき



歯ぐきは薄いピンク色で、引き締まっています弾力がある。



歯垢がたまと炎症が起こり、歯と歯ぐき間に小さなすき間ができる。



すき間から歯周病菌が入り込み、歯槽骨（歯を支える骨）が溶け始める。



歯槽骨がさらに溶け、歯がぐらつく。最悪の場合は抜けてしまう。

予防するには何よりも歯みがきが大切です。歯垢がたまりやすい場所は特に丁寧にみがきましょう。

～保護者のみなさまへ～

《 尿検査の結果について 》

みなさまのご協力で今年度の定期健康診断がほぼ終了しました。ありがとうございました。

尿検査の結果につきましてお知らせします。本日までには通知等が配布されていない場合は「異常なし」となります。よろしくをお願いします。

何かご不明な点がございましたら、保健室までお問合せください。